

鶴見川でボート・カヌーを楽しむ方へ

2021.11.19

鶴見川は、公共の河川です。一般の方や作業船も往来しています。堤防からの釣り人も大勢います。ボートやカヌーの専門コースではありません。他者とのトラブルは絶対に起こさないようにしてください。マナーを守って楽しく安全にご利用をお願い致します。

【共通事項】

- ① 乗艇できるのは、自力で出艇・帰還できる方だけです。練習域ですが下流は圧送管から上流は鷹野大橋までに限られています。転覆等で復帰できない方は、漕艇場から視認できる範囲（下水道橋～森永橋）での走行をお願い致します。
《漕艇場は、いかなる利用者の事故について責任・補償を負いません》
- ② 右側通行です。ただしセンターラインはなく、浅瀬やカーブがあるので、川の中央が境界ではありません。場所・状況に応じた判断が必要です。艇の前方・後方の安全には常に注意してください。
《大型の作業船等は船長が安全と判断した航路を通ります。カヌー・ボートは進路を譲ってください》
- ③ 遅い船は岸寄りを、早い船は中央寄りを通行してください。
- ④ 他船の危険に気づいたら、大きな声で注意喚起してください。
- ⑤ 遠くからでも視認できるように、目立つ色の服又は蛍光色のビブスを着用してください。
- ⑥ 他の艇に注意してください。
- ⑦ クレーン作業中は絶対に作業領域に入らないでください。
- ⑧ シングル・ダブルスカル乗艇者だけでなく全ての利用者の方に、冬季乗艇利用時の確認書を再度確認いただくようお願い致します(12月1日から受付にて設置しております)。

【エイト、フォア、クオドルプル、ナックルフォア】

コックス（艇長）が責任者です。

漕手と艇の安全を確保。練習の充実より安全が最優先です（下記チェックは大丈夫ですか？）。

- ① ストレッチャー靴の踵ひもの緩みが規定内であること。
- ② 艇の上げ下げ時には、船底及びフィン等を台船にぶつけない事。
- ③ 乗艇時は、オールをつけて艇の安定を確保した後にストレッチャーの靴を履く。下船時は、靴を脱いだあとにオールをはずす。靴を履いたままでは沈した場合、脱出できずに水没し溺れてしまう可能性があります。
- ④ 艇の前後方向の安全を常に確認する（コックスとバウ） 衝突・接触事故を根絶！。

【シングルスカル・ダブルスカル等】

練習の充実より安全が最優先です（下記チェックは大丈夫ですか？）。

- ① ストレッチャー靴の踵紐の緩みが規定内であること。
- ② ストレッチャー靴は、沈のときにすぐに脱げることを確認する。靴を履いたままで沈した場合、脱出できずに水没し溺れてしまう可能性があります。
- ③ ストローク中は常に前後方向の安全を確認する。5本のストロークで50m近く進む。向かってくる相手がエイトの場合、200m以上の距離が必要である。衝突・接触事故は絶対に起こさないようにしてください。後方確認は艇を斜めに傾けるなど工夫し、確実に実施してください
- ④ 転覆した場合、自力で再乗艇すること（自力での再乗艇に不安があるかたは、バディシステムで複数艇で漕ぐ、または岸からの伴走者をつけること）。

以上